

## 特別企画 Girls'talkからSerious talkまで、3人の外国人選手に聞く

守備の要、GKのプリトニー キャメロン選手に加え、今季から加わったFWケイトリン フォードと、MFカトリーナ ゴリーの外国人選手2人。共にオーストラリア代表という実力の持ち主だ。プリトニー選手も元アメリカ代表、3人のナショナルチーム代表を得て、その活躍とチームの勝利→優勝に期待が高まっている。

3人の外国人選手にインタビューを、という希望が叶った。3人揃ってのインタビューは初めてとのこと、クラブハウスの1室で、豪華3人が並んだ図に、ワクワクのインタビューになった。

### サッカーを始めたきっかけは？

6歳(カトリーナ)、8歳(プリトニー)、9歳(ケイトリン)から、と3人とも明確に始めた年齢を覚えていた。その頃は女子サッカーチームがなく、兄弟が所属していた男子チームに入っていたとか。日本の女の子たちと変わらない、自然な流れでサッカーを始めたことに親近感が湧く。

### ベガルタ仙台レディースに来ることになったいきさつは？

スカイ・ブルーに在籍していた時、日本人コーチからベガルタ仙台レディースでGKを探していると聞いて。(プリトニー)

海外でプレーをしたかった。プリトニーとチームが一緒だったので、自分も考えた。プリトニーがいなかったら来なかったかもしれない。(ケイトリン)

いつかどこかの時点で日本でプレーしたかった、オーストラリア代表でケイトリンと一緒に。ケイトリンの移籍を聞いて1か月後に来た。(カトリーナ)



プリトニー キャメロン選手

### 日本の印象は？

代表で日本に来たことがあり、日本が好きになった。いつか、日本に来たかった。街がきれいだし、いい人が多い。お互いを尊重し合っていると感じる。(ケイトリン&カトリーナ)

3人の中では、日本にいる期間が一番長い。アメリカとは真逆と感ずることが多いが、違う文化を学ぶことはとても勉強になる。(プリトニー)

### 日本食はどうですか？～このあたりから、Girls'talkの様相に…!

世界で一番おいしいのは日本の食事だと思う。日本食と言うわけではなくても、すべての食事がフレッシュ&ヘルシー!(3人、頷き合う)

アイスクリームが大好き、八乙女のアルパジョンのが特に好き。(3人、大きく頷く)

日本のご飯はおいしい。炊飯器を持っていて、週に何回か炊いて食べる。(プリトニー)

刺身、寿司、いろんな食べ物を試している。お好み焼きを自分でも作る。(カトリーナ)

餃子も好き、パスタより、今はお米。(ケイトリン)

鉄板焼きの行きつけの店もある。家庭的な店、「ただいま」的な…(プリトニー)

盛り上がるGirls'talkは名残惜しかったけれど、Serious talkも、とリクエスト

### 今年の抱負は？

目標はチームの優勝!(3人とも声を揃えて!)



ケイトリン フォード選手

### 個人の目標は？

日本のサッカーに慣れ、精度の高い技術を学びたい。(ケイトリン)  
フィジカル、運動能力はオーストラリアが優れているが、戦略面で学ぶことが多い。(カトリーナ)

日本、オーストラリア、アメリカ、お互いの違うプレースタイルから学ぶことがある。そこがサッカーの魅力でもある。(プリトニー)

### 後援会、応援団の皆さんへメッセージを

サポーターの応援は、いざという時に力になる。はじめから最後まで組織だて統率がとれている。選手の個人応援歌が耳に残っている。(ケイトリン)

伊賀は遠いのに、駆けつけてくれた。試合中、ゴールドのユニフォームの集団が見えて心強かった。アメリカにはない、サポーター活動だ。(プリトニー)

アウェイの試合でも遠くまで来てくれる。最後の5分間まで大きな声で応援してくれるので頑張れる。もっとサポーターの皆さんと話がしたい。(カトリーナ)



カトリーナ ゴリー選手

### 最後に、サッカーをしている若い女の子たちへの応援メッセージをお願いします

サッカーを通じて、たくさんものを得た。若い子には、何か打ち込めるものをもって欲しい。(プリトニー)

スポーツをすることで、たくさん思い出と大切な友人ができる。女の子は、サッカーに限らず、自分が楽しんで打ち込めるものを見つけたい。(カトリーナ)

When I'm enjoying myself on and off the field having fun, that's when I'm playing my best football. スポーツが大好き。自分が楽しい時によりプレーができる。

(ケイトリン)

プリトニーは1986年生まれ、カトリーナは1992年、ケイトリンは1994年生まれのまだ22歳だ。嬉々としてアイスクリームの話をする女の子の素顔の一方で、質問に答える彼女たちは、淀みない話し方で、とても知的でスマート。サッカーについて語る内容は、さすがにナショナルチーム代表であることを感じさせた。最も頻りに使う日本語は、「ありがとうございます」。謙虚で、日本の良さを積極的に学ぼうとする彼女たちなら、チーム一丸となって、優勝を目指してくれるに違いない。まさに、2017年のスローガン「One HEART 心を熱く」、のように。そう確信した宝物のような時間だった。



左:カトリーナ ゴリー選手 中央:ケイトリン フォード選手 右:プリトニー キャメロン選手



# ベガルタ仙台レディース 後援会通信

2017年 7月15日発行 vol.3  
編集・発行 /  
ベガルタ仙台レディース後援会 (通算 vol.25)

## レディース選手の似顔絵です。だれか分かりますか？

今回25号を発行するベガルタ仙台レディース後援会通信。大人気の《ふだん着の織姫たちシリーズ》で描かれた選手の似顔絵も味があると評判です。どの選手か当ててみてください。ヒントはホームページの後援会通信バックナンバーに。



ベガルタ仙台レディース後援会はさまざまな支援活動を通じてベガルタ仙台レディースを応援しています。

## 思い出がぎっしりつまったホームページ 懐かしいバックナンバーがいっぱいありますよ



毎試合活躍するビッグフラッグ

### 《バックナンバーの一部ご紹介》

- No.1 プレナスなでしこリーグ2013ホーム開幕戦に寄せて  
ベガルタ仙台レディース後援会顧問仙台市長 奥山恵美子
- No.2 観戦スタンプラリー実施中
- No.3 お弁当作り&栄養講習会開催・ビッグフラッグプロジェクト
- No.4 幹mikiさんコンサート行ないました 勝利の花咲け弁当
- No.5 ふだん着の織姫たちシリーズ開始

### 「VL☆PRESS」も全部掲載♪

2014年9月6日のvol.1号から掲載しています。今では、懐かしい選手のことなども見ることができます。



レディース後援会のホームページ <http://vegalta-ladies.com/>





## 第4回「白百合まごころ弁当」のお届け



献立は

- 日の丸ごはん
- スパイシーからあげ  
～バジルスパゲッティ～
- 夏野菜のトマトソース和え
- オクラのおひたし
- ゆでとうもろこし
- ズッキーニのナッツ焼き
- スイカの炭酸ゼリー です。



7月になって蒸し暑くなってきたので、暑さに負けないようにガッチリと食べられるように考えたお弁当です。

また、食中毒防止についても最新の注意を払って、間違いなく火が入る揚げ物中心のおかずになりました。

冷たいおかずやデザートは別容器で冷たいままに食べられるようにしました。

その他、選手に夏バテをせず元気で夏を乗り切るポイントを3つご紹介しました。

- 1 ビタミンB1をとり、疲れを防ぐ。
- 2 新鮮な野菜や果物を食べて、水分やミネラルを補給する。
- 3 冷たいものを食べすぎない。

明日、7月7日は七夕の日。仙台では1か月遅れでお祭りを行っています。日本の多くの地域で明日は七夕だ!と盛り上がっていることでしょう。

そんな七夕前日のお弁当は、「今日は七夕の前夜祭!夏バテがさあ、問題(サーモン)だ。からあげを食べて気分アゲアゲ弁当」。少々長いネーミングですが、サーモンやから揚げが入っている揚げ物入りのお弁当ということはわかります。

## 仙台七夕短冊募集—短冊に願いを込めて

ベガルタ仙台レディース後援会は7月2日(日)のI神戸戦(ユアスタ)の試合前、ご来場の皆様に呼びかけて、マイナビベガルタへ仙台レディースへのメッセージや願い事などを、黄色い短冊に書いていただきました。

この活動は、毎年恒例となっているベガルタ仙台市民後援会との共同企画です。お天気に恵まれた日曜日の試合前、ご家族連れや子どもたちのグループが立ち寄り、黄色い折り紙に「目ざせ優勝!」「がんばれレディース!」「がんばって!」など、マイナビベガルタ仙台レディース優勝への願いをこめた一言を書き込んでいました。後援会ブースでの仙台七夕短冊募集の取組は、7月15日(土)の伊賀FC戦・7月22日(土)浦和レッズレディース戦でも行われます。

集まった短冊は、レディースとトップチームの選手・スタッフが書いた短冊とともに、吹流しに取り付けられ「ベガルタ七夕飾り」として、8月6日(日)～8日(火)の仙台七夕まつりで、仙台市青葉区のクリスマスロード商店街に飾られる予定です。



▲ 2016年8月のベガルタ七夕飾り、今年はどんな七夕飾りが楽しみです。

## ともに応援しましょう(後援会入会のご案内)

私たちベガルタ仙台レディース後援会は、マイナビベガルタ仙台レディースを応援し、さまざまな支援活動を通してスポーツ文化振興及び地域、社会の発展に寄与することを目的として設立いたしました。

宮城を元気にしてくれるチームの活躍に感謝し、ともに応援しましょう。あなたのご入会をお待ちしています。



後援会活動の一環として、台風10号による被災地支援のための義援金募金を選手と一緒に呼び掛ける後援会員

ホームゲーム会場の  
後援会ブースで  
受付をしています。

○入会金 / 3,000円(初回のみ)

○年会費 / 1口 2,000円(何口でも)

○入会特典 / 後援会オリジナルTシャツ、後援会オリジナルバッジ

☆入会時は入会金と年会費を合わせた金額をお支払いください。(更新時は年会費のみ)  
☆2017年度会期は2018年1月31日までです。☆入会時に会員証をお渡しいたします。

## 会員継続・更新手続きのお願い

平素より後援会活動にご理解とご協力をいただき、ありがとうございます。発足以来、661名の皆様にご入会いただき、そのご支援が大きな支えとなっておりますことを、心より御礼申し上げます。

ベガルタ仙台レディース後援会は、会員一人一人が作り上げる組織です。まだ2017年度の更新をされていない会員の皆様は、更新の手続きを行っていただき、引き続きご支援くださいますよう、よろしくお願いいたします。

2017年度の会期は、2017年2月1日～2018年1月31日です。

会員更新手続きは、以下の通りです。

☆ホームゲームの際に、後援会ブースで簡単に更新手続きができます。

後援会ブースは開場から試合開始15分前まで開設しています。

☆郵便振替での更新手続き方法【青色で印刷された振込取扱票をご使用ください】

振込先：ベガルタ仙台レディース後援会 口座記号番号：02270-0-112505

通信欄：1) 会員番号 2) Eメールアドレス(変更があった場合のみ)

会費：一口2,000円以上、何口でも結構です。

☆更新の際に本年度バージョンの「後援会オリジナルバッジ」(写真右)を進呈いたします。

